

2 26年度の状況

(1)水産物部

①取扱高及び収益状況

事項		26年度	25年度	前期比
総取扱金額(売上高)		5,019億3,826万円	4,925億9,228万円	101.90
卸売業務	数量	477,196トン	502,101トン	95.04
	金額	4,329億3,736万円	4,273億8,796万円	101.30
受託物品	数量	123,406トン	131,936トン	93.53
	金額	1,170億7,872万円	1,181億7,066万円	99.08
買付物品	数量	353,790トン	370,165トン	95.58
	金額	3,158億5,864万円	3,092億1,730万円	102.15
兼業業務	金額	690億90万円	652億432万円	105.82
売上総利益		237億613万円	236億1,012万円	100.41
受託販売手数料		64億3,517万円	64億9,490万円	99.08
買付販売利益		137億8,534万円	136億1,429万円	101.26
兼業業務利益		34億8,562万円	35億93万円	99.56
売上総利益率		4.72%	4.79%	
販売費及び一般管理費		213億2,230万円	213億4,189万円	99.91
営業利益		23億8,383万円	22億6,823万円	105.10
営業利益率		0.47%	0.46%	
経常利益		31億1,606万円	29億2,301万円	106.60
経常利益率		0.62%	0.59%	

水産物部は前期と比較し増収増益となった。

受託・買付物品ともに取扱数量は減少したが、売上単価の上昇により卸売業務の売上高が増加したことや、兼業業務も好調であったため、総売上高は約93億円の増収となった。

売上総利益は、受託販売手数料及び兼業業務利益が減少したものの、買付販売利益の増加により、全体では約1億円の増益となった。

また、販売費及び一般管理費が縮減したことや、営業外収益が増加したことにより、経常利益は約2億円の増益となった。

②財務状況

事項	26年度	25年度	前期比
総資産	988億8,153万円	982億7,786万円	100.61
負債	590億3,359万円	622億4,327万円	94.84
純資産	398億4,794万円	360億3,459万円	110.58
自己資本比率	40.30%	36.67%	
流動比率	138.40%	126.83%	

財務状況は、投資その他資産などの増加により総資産が約6億円増加した。

純資産についても、利益剰余金が増加したことなどにより約38億円増加し、自己資本比率は約3.6ポイント上昇した。

流動比率は、主に短期借入金の減少などで流動負債が減少したため約11.6ポイント上昇した。

(2) 青果部

① 取扱高及び収益状況

事項		26年度	25年度	前期比
総取扱金額(売上高)		5,307億2,296万円	5,347億5,419万円	99.25
卸売業務	数量	2,058,588トン	2,066,540トン	99.62
	金額	5,027億9,208万円	5,067億317万円	99.23
受託物品	数量	1,296,821トン	1,315,648トン	98.57
	金額	3,257億1,925万円	3,319億735万円	98.14
買付物品	数量	761,767トン	750,892トン	101.45
	金額	1,770億7,283万円	1,747億9,582万円	101.30
兼業業務	金額	279億3,088万円	280億5,102万円	99.57
売上総利益		364億6,670万円	362億6,534万円	100.56
受託販売手数料		263億9,709万円	269億971万円	98.10
買付販売利益		73億7,969万円	75億3,948万円	97.88
兼業業務利益		26億8,992万円	18億1,615万円	148.11
売上総利益率		6.87%	6.78%	
販売費及び一般管理費		345億2,927万円	338億6,284万円	101.97
営業利益		19億3,743万円	24億250万円	80.64
営業利益率		0.37%	0.45%	
経常利益		26億6,626万円	31億6,934万円	84.13
経常利益率		0.50%	0.59%	

青果部は前期と比較し減収減益となった。

買付物品の取扱数量・売上高は増加したが、野菜の売上単価の下落及び受託物品の取扱数量・売上高の減少により、総売上高は約40億円の減収となった。

売上総利益は、受託販売手数料及び買付販売利益が減少したものの、兼業業務利益が大幅に増加したため、全体では約2億円の増益となった。

一方、販売費及び一般管理費が、受託品事故損や従業員給料手当の支出増などにより、約7億円増加したため、営業・経常利益ともに約5億円の減益となった。

② 財務状況

事項	26年度	25年度	前期比
総資産	612億3,335万円	601億3,668万円	101.82
負債	180億8,947万円	181億4,328万円	99.70
純資産	431億4,388万円	419億9,340万円	102.74
自己資本比率	70.46%	69.83%	
流動比率	284.38%	272.21%	

財務状況は、流動資産の増加により、総資産が約11億円増加した。

純資産についても、利益剰余金が増加したことなどにより約12億円増加し、自己資本比率が約0.6ポイント上昇した。

流動比率は、流動資産の預金が増加したため、約12.2ポイント上昇した。

(3)花き部

①取扱高及び収益状況

事項		26年度	25年度	前期比
総取扱金額(売上高)		822億6,182万円	840億8,683万円	97.83
卸売業務	数量	1,648,275千本	1,676,135千本	98.34
	金額	806億7,444万円	825億2,634万円	97.76
受託物品	数量	1,590,256千本	1,619,477千本	98.20
	金額	772億4,247万円	792億270万円	97.53
買付物品	数量	58,019千本	56,658千本	102.40
	金額	34億3,197万円	33億2,364万円	103.26
兼業業務	金額	15億8,738万円	15億6,049万円	101.72
売上総利益		79億3,755万円	81億2,643万円	97.68
受託販売手数料		74億2,270万円	76億1,002万円	97.54
買付販売利益		1億5,390万円	1億5,464万円	99.52
兼業業務利益		3億6,095万円	3億6,177万円	99.77
売上総利益率		9.65%	9.66%	
販売費及び一般管理費		74億6,644万円	75億2,259万円	99.25
営業利益		4億7,111万円	6億384万円	78.02
営業利益率		0.57%	0.72%	
経常利益		6億2,068万円	7億3,362万円	84.61
経常利益率		0.75%	0.87%	

花き部は前期と比較し減収減益であった。

買付物品の取扱数量・売上高は増加したが、鉢物の売上単価の下落及び受託物品の取扱数量・売上高の減少により、総売上高は約18億円の減収となった。

売上総利益は、受託販売手数料、買付販売利益及び兼業業務利益すべての項目で減少し、約2億円の減益となった。

また、販売費及び一般管理費の減少や営業外収益の増加はあったが、営業・経常利益ともに約1億円の減益となった。

②財務状況

事項	26年度	25年度	前期比
総資産	171億5,014万円	168億5,928万円	101.73
負債	84億3,297万円	83億7,538万円	100.69
純資産	87億1,717万円	84億8,390万円	102.75
自己資本比率	50.83%	50.32%	
流動比率	184.64%	177.00%	

財務状況は、流動資産の増加により、総資産が約3億円増加した。純資産についても、利益剰余金が増加したため約2億円増加し、自己資本比率が約0.5ポイント上昇した。

流動比率は、流動資産の預金が増加したため約7.6ポイント上昇した。

(4) 各部門の比較

項目・部類	水産物部	青果部	花き部	計
総取扱金額(売上高)	5,019億3,826万円	5,307億2,296万円	822億6,182万円	1兆1,149億2,304万円
売上総利益	237億613万円	364億6,670万円	79億3,755万円	681億1,038万円
販売費及び一般管理費	213億2,230万円	345億2,927万円	74億6,644万円	633億1,801万円
営業利益	23億8,383万円	19億3,743万円	4億7,111万円	47億9,237万円
営業利益率	0.47%	0.37%	0.57%	0.43%
経常利益	31億1,606万円	26億6,626万円	6億2,068万円	64億300万円
経常利益率	0.62%	0.50%	0.75%	0.57%

※つけ物・鳥卵及び食肉部を除く

総取扱金額(売上高)は、青果部が約5千3百億円で最も大きい。次いで水産物部が約5千億円、花き部が約820億円となっている。

売上総利益率(粗利率)は花き部が9.65%、青果部が6.87%、水産物部が4.72%、と花き部が一番大きい。これは、受託販売が約96%を占め、委託手数料率も花き部が一番高いことによる。

営業利益率及び経常利益率は、花き部、水産物部、青果部の順に高く、売上総利益率と同様に花き部が一番高くなっている。

また、売上総利益率と比較して、水産物部が営業利益率及び経常利益率において青果部を上回るのは、販売費及び一般管理費の割合が青果部より低いことによる。

<参考>

1 営業利益率

営業利益とは、会社が本業から上げる利益のこと。売上から、原材料費や仕入れ費用、販売費及び一般管理費などの本業に関わる費用を差し引いて求めたものが営業利益である。営業利益率は、企業の収益力を見るための指標であり、売上のうちのどれくらいが営業利益になるのかを見るもの。

営業利益率＝営業利益／総売上高（受託＋買付＋兼業）×100（%）

2 経常利益率

経常利益とは、営業利益に支払利息や有価証券売却益などの本業以外の損益を加減して求めたものである。営業利益と同様、企業の収益力を見る指標である。

経常利益率＝経常利益／総売上高（受託＋買付＋兼業）×100（%）

3 部類別平均単価の推移

単位：円

部 類		26年度	25年度	24年度
水 産		980	894	834
青 果	野菜	236	233	201
	果実	358	344	311
花 き	切花	65	63	59
	鉢物	500	491	472

4 利益率の推移

単位：%

部 類		26年度	25年度	24年度
水産	営業	0.47	0.46	▲ 0.74
	経常	0.62	0.59	▲ 0.67
青果	営業	0.37	0.45	0.36
	経常	0.50	0.59	0.50

※・年間総括表(市場別・卸売業者別・部類別取扱高)の部類別平均価格による

- ・水産、青果の平均単価は、1kgあたり
- ・花きの平均単価は、切花は本、鉢物は鉢あたり